

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 高梨乳業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 2 4 1 - 0 0 2 3 神奈川県横浜市旭区本宿町 5 番地
----	-------------------------	----	---

本票作成	部署名：岡山工場 工務課
------	--------------

主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業
-------	-------	----	------------

事業の概要	岡山工場では県内から西日本全域にかけて販売する牛乳、加工乳、乳飲料などを製造。生産量は年間約32000kl（平成25年度）、従業員数は76名、年365日稼働体制となっている。
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	倉敷市片島町地藏院地187-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	6,165 t CO ₂	6,151 t CO ₂	5,856 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	岡山工場	6,151 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 6.1 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量千 kL	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		181 t CO ₂ /(千KL)	192 t CO ₂ /(千KL)	171 t CO ₂ /(千KL)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- 1) 全体生産量は前年度比で93%と減少している。
- 2) 累計電力量は前年度比で93%、重油使用量は96%となっている。
- 3) 省エネ取組については下欄記載のとおりで、期首計画に基づき実施できた。
- 4) 原単位あたり排出量では基準年度量との比較で増加。原因として全体生産量は減少傾向であるが、熱媒体を多く使用するクリーム類の生産が28%増加したことが挙げられる。
- 5) 一方で中国電力排出係数も前年比112%と、大幅に高くなったことが要因として挙げられる。

【推進体制】

- 1) エネルギー使用量削減は環境マネジメントプログラム計画に基づき施策実行中。
- 2) 各職場から選出の環境推進委員会を毎月実施。エネルギー使用量のレビューの他、エア漏れ、スチームトラップの点検等をメンバーが中心となって行なっている。
- 3) 職制中心の環境委員会は毎月実施。ISO14001活動全般の進捗確認等を行なっている。
- 4) メーカーなどが主催する省エネに関するセミナーへの参加や技術情報の収集を行なっている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(25年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月 ボイラー4台について放熱損失防止を目的とし、カバーラップの装着。 ・ 9月 ボイラー4台について押し込み送風機の風量制御をインバーター化。 ・ 10月 充填室空調エアハンドリングユニットの風量低下 ・ 2月 製品冷蔵庫の照明を全灯LED化。工場内各室ごとに逐次LED化を推進中。 ・ 毎月 エア漏れ、スチームトラップ作動状態の点検実施。 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 26年度中 蒸気自動送気システム導入による無負荷時ボイラ停止。 ・ 26年度中 ブライン冷却用チラー設備更新。(電力削減) ・ 26年度中 排水処理設備ブロワインバータ制御(電力削減) ・ 26年度中 充填室空調エアハンドリングユニットのインバータ化 ・ 26年度中 エアコンプレッサー台数制御装置導入による運転効率化。 ・ 26年度以降 各室照明LED化推進 ・ 26年度以降 ボイラー更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- 企業と協働の森づくり事業への参加。
- ・ 高梁市美しい森での森林保全活動参加継続。(年3回活動)